

社会とのかかわり

スポーツ

ワールドレディスチャンピオンシップ サロンパスカップ

2010年5月6日～5月9日、茨城ゴルフ倶楽部で開催された日本女子プロゴルフツアー公式戦「ワールドレディスチャンピオンシップ サロンパスカップ」に当社は特別協賛を行いました。「The Major」の名の通り、国内、そして世界からトッププレイヤーが出演し白熱した戦いの末、モーガン・プレッセルプロが優勝しました。観客動員数も大会史上最高の31,505人のお客さまにご来場いただきました。大会期間中、ギャラリープラザでは、久光製薬ブースを出店し「サロンパスA[®]」を含む医薬品のサンプリングを行いました。またサロンパスゴルフパークではスイングスタジオやターンパッティングで老若男女問わず楽しんでいただけるアトラクションを実施しました。



会場内の久光製薬ブース

東京マラソン 2010

2010年2月28日東京都庁をスタート地点として「東京マラソン 2010」が開催され、当社はこの大会に協賛しました。ゴール地点の東京ビッグサイト(フルマラソン)と日比谷公園(10km)で薬店を開設し、完走者約35,000名に「エア[®]サロンパス[®] EX」のサンプリングを行いました。その他、2月25日～27日の期間、東京ビッグサイトにて「東京マラソン EXPO2010」も開催され、久光薬店ブースを出店し、「サロンパスA[®]」、「エア[®]サロンパス[®]」などの物販を行いました。



アフターケアコーナーでのサンプリング

平成 21 年度 第 20 回全九州選抜高等学校 バレーボール大会

2009年12月25日～12月28日の日程で熊本県立総合体育館を主会場に各県大会の上位4校が出演し、女子・男子とも各32チームの計64チームが熱戦を繰り広げました。本大会に当社は特別協賛を行い、地域の高校生のバレーボール技術の向上、また青少年の育成を支援しています。



第20回全九州選抜高等学校バレーボール大会

久光製薬スプリングス

当社では1948年から女子バレーボールの自社チームを組織化、本年で創部62年と長きに渡って活動しています。現在「久光製薬スプリングス」として日本最高峰のリーグ・V.プレミアリーグに所属し、2009年は「天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会」で優勝するなど各種大会に参加する一方、地域に根ざしたスポーツ支援活動を行っています。



神戸市でのバレーボール教室開催

バレーボール教室の開催

毎年、本拠地である佐賀県や練習拠点の兵庫県を中心に、バレーボール教室を開催しています。小学生からママさんバレーまで幅広い年齢層を対象とし、バレーボール競技の発展・向上に努めています。スプリングスのコーチスタッフ、選手が講師として積極的に参加し、参加者やその保護者の方々と様々なコミュニケーションを図っています。

また、指導者研修会も、毎年、佐賀県で実施しており、県内の小中高のバレーボール指導者が参加。トップリーグのコーチングを伝えることにより、地域の競技レベルの向上を目指しています。2010年度は8月に開催し、県内約80名の指導者に参加いただきました。

ホームゲームの開催

久光製薬スプリングスは、V.プレミアリーグで毎年全国各地を回るリーグ戦を行っています。2009年は4試合(佐賀県2試合、兵庫県2試合)をホームゲームとして開催し、観戦された方々に当社商品や選手との写真撮影、選手グッズなどをプレゼントし、地元ファンの方々に喜んでいただける企画を展開しています。

久光製薬杯ジュニアバレーボール大会の開催

兵庫県下の小学生対象の大会「しらさぎ杯」として開催されていたバレーボール大会を2004年から当社が冠スポンサーとして支援し、現在では他県のチームを含む72チームが参加する大規模な大会として開催しています。

「バレーボール教室に参加して」

磯和萌渚さん(神戸市立こうべ小学校6年生)
晶子様(お母さま)

今日は、いつもと違う練習ができて、たくさんのお話をスプリングスの選手のみなさんから教えてもらい楽しかったです。私は、セッターなので、特に古藤選手のプレーに注目し、教えてもらい大変役に立つことを学びました。

私もPTAの活動などでバレーボールを楽しんでいるので、今日は見学だけで残念でした(笑)。久光製薬さんのこのような企画には、大変感謝していますし、毎年抽選なので、これからももっとこのような機会を増やしてほしいと思っています。



バレーの楽しさを教えてもらいました

鳥栖工場厚生部久光製薬スプリングス
新鍋理沙 長岡望悠

練習拠点である神戸の小学生たちと交流ができ、大変楽しい一日でした。私たちは、日々厳しい練習をしていますが、この教室で出会った子どもたちのように「バレーボールは楽しいもの」ということを改めて教えてもらった気がします。また、子どもたちのプレーを教わる素直な姿勢と上達ぶりに大変感心させられ、私たちの明日からの練習にも、一層の励みになることと思います。



健康

第31回とっても健康セミナー

2009年10月21日、宮崎県メディキット県民文化センターにて第31回とっても健康セミナーが開催され、当社は本セミナーに協賛しました。今回は国立病院機構九州医療センター名誉院長の柏木征三郎先生を講師に迎え「今年の冬も要注意！～みんな知りたい、かぜ・インフルエンザ」という演題で講演を行いました。

また第2部としてTVキャスター草野仁氏をお招きし、「いつもチャレンジ精神で」と題しトークショーを行いました。

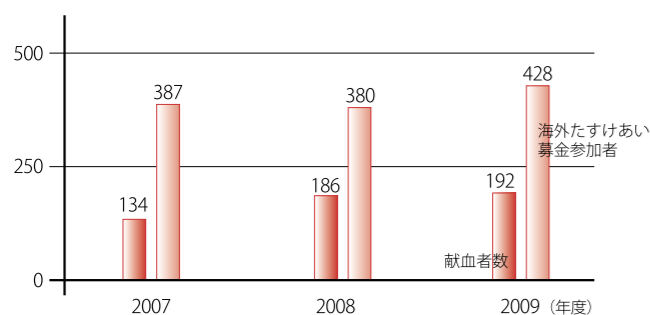
日本赤十字社への協力

1997年から年末の海外たすけあい街頭募金活動に協力しています。2009年には、全国で428名の従業員が参加し、募金を呼びかけました。また、従業員による献血も継続的に協力しています。



海外たすけあい募金活動

献血者・海外たすけあい募金参加者数(名)



※献血は九州本社、宇都宮工場、筑波研究所の人数です

環境

環境整備、美化活動

九州本社など事業所周辺における環境整備・美化活動に参加しています。地域とともに従業員一人ひとりが、環境意識を高め、環境に関わる活動を積極的に推進するため、広く従業員に呼び掛けています。2009年10月25日「クリーン作戦ポイ捨てなくすつ隊」鳥栖市主催 参加人数 49名
2010年1月24日「捨てちゃい缶バイ！作戦」鳥栖市主催 参加人数 59名

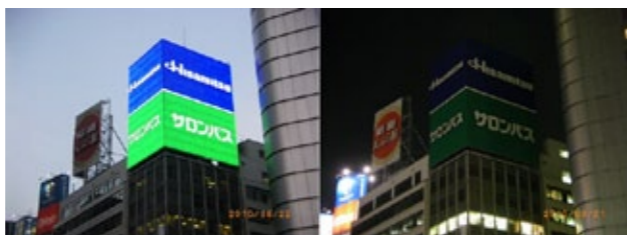


クリーン作戦
ポイ捨てなくすつ隊

捨てちゃい缶バイ！作戦

ライトダウンキャンペーンへの参加

環境省が2003年から呼びかけ、実施している「CO₂削減ライトダウンキャンペーン」に賛同し、ネオン看板の消灯を行っています。2010年は、全国10カ所でネオンの消灯を実施し、合計のCO₂排出削減量は、約218kgとなりました。



ライトダウンキャンペーン (左：消灯前 右：消灯時)

地域貢献

久光ほっとハート倶楽部

従業員と企業が一体となった社会貢献活動として2007年に設立したマッチングギフト「久光ほっとハート倶楽部」では、2009年度、11団体に寄付をしました。

従業員からの毎月の寄付金と同額を会社が拠出し、支援先の選考に関しては、従業員からの意見を元に委員会で決定しています。



特定非営利活動法人クックルー・ステップ

久光ほっとハート倶楽部寄付先 (2009年度)

- 特定非営利活動法人 NGO 福岡ネットワーク
- 特定非営利活動法人クックルー・ステップ
- Save the African Children
- Team My Eco Fukuoka 「いなりの会」
- フレンズ国際ワークキャンプ九州
- くるんて〜ぶの会
- HELP NEPAL ASSOCIATION-JAPAN
- 難病患者支援の会
- グッドネーバース・ジャパン
- 日本車いすテニス協会
- ぎんなん基金 (宇都宮市社会福祉協議会)

●くるんて〜ぶの会

代表 原田 君子さん

前代表が御主人の仕事でタイに約3年生活をして、タイの現状を知る事となり、タイでボランティア活動をしていました。日本に帰って来た時、子ども達の為に何が出来るだろうかと考え、「コーヒー1杯の協力で子ども達が学校に行けます」と一般の人に呼びかけ、里親活動が発足しました。

経済的理由等で学校に行けない子ども達への教育援助活動。タイを中心とする東南アジアの文化歴史等を学び、その人たちと交流することにより、一層の理解を深めるとともに、そこから知り得た情報を福岡を中心に多くの人たちに知ってもらうための活動を実施。



● Team My Eco Fukuoka 「いなりの会」

代表 芹田 博さん

カーボン・オフ・パスポート福岡版の企画・発行活動及びエネルギーや食料などの環境問題について月に1~2回環境勉強会を開催。大学生10数名が中心となって活動中。



● 特定非営利活動法人クックルー・ステップ

理事長 古賀裕子さん (写真右)

理事 大賀栄利子さん (左)

チャレンジド・kids (障がい児) とその保護者が協力し合い、情報の共有や交流の場を設け、「心身ともに豊かな生活ができるように」という願いのもと発足。子どもたちが楽しめて、保護者も元気で勇気を得られるような活動をしています。福岡市西区の通園施設に通う「はと」組のママたちが、障がい児をかかえ、不安や心配がつきないなか、「私たちに出来ることは何だろう」「何かしなくては」という思いから平成16年12月に「クックルー通信」を発行しました。また、訪問介助や移動支援などの「障がい福祉サービス」や講演会・勉強会等を通して様々な支援活動を展開しています。



中富記念くすり博物館

中富記念くすり博物館は、くすりに関する産業文化を後世の人々に伝えながら生涯学習の場として役立つことを願い1995年に開館しました。館内ではイギリスから移設した120年前の薬局、上質で貴重な生薬70種余り、そして当館を建築する由来の一つとなった配置売薬（発祥した江戸期の地名から田代売薬と呼ばれた）にまつわる資料を公開しています。敷地内には薬木薬草園も併設し、年間2万人を超えるお客さまにご来館いただいています。また、「田代のくすり」、「佐賀県の製薬業」の楽しみながら学べる教室を定期的に開催しています。



2010年に開催した「くすりの入れもの」展会場風景

鳥栖市民講座

2009年9月26日鳥栖市民文化会館にて「第13回久光製薬鳥栖市民講座」を開催しました。今回は政治評論家・テレビ解説者の三宅久之氏を講師に迎え「激動の政治経済“今”何が問題か！」という演題で講演を行いました。参加者には、地元の文化財保護のため寄付を呼びかけ、1400名を超える方々にご協力いただきました。集まった寄付金は、当社からの寄付金100万円とあわせて、九州本社のある鳥栖市の天台宗太田観音安生寺へ寄付しました。



第13回鳥栖市民講座

お茶会の開催

文化活動の一環として、2009年10月12日「第6回秋の茶会」、2010年4月10日「第7回春の茶会」を九州本社構内において開催しました。年間延べ500名を超えるお客さまに参加いただき、地元の茶道文化の発展ならびに芸術文化の振興に貢献しています。また、従業員も参加し地域の方々との交流を図っています。



第7回春の茶会

工場見学

国内の生産拠点である鳥栖工場、宇都宮工場では、工場見学を実施しています。「サロンパス®」、「モーステープ®」の製造工程を見学いただきながら、お客さまに安心して使っていただき喜んでいただける商品作りや、製造過程における環境対策などを紹介しています。また、鳥栖工場では見学者からのご意見を参考に、湿布薬の貼り方教室も開催しています。



工場見学（鳥栖工場）

夏祭り

地域との交流や従業員間の懇親を図るため、九州本社では、夏祭りを開催しています。地域の方々や従業員家族など約2,000人が参加し、親睦を深めました。



夏祭り

公益財団法人 中富健康科学振興財団

1988年に設立以来23年目を迎えた中富健康科学振興財団は、2010年5月末に内閣府より新公益法人制度に基づく公益財団法人の移行認定を受けました。今後も設立趣意書に謳う、健康の維持・増進についての医学・薬学及び運動を主体とする健康増進に関する科学の研究を支援する研究助成等の活動を行っていきます。2009年度は総額5千万円で50名に助成金、2名に振興賞を贈呈しました。



2009年度 研究助成金等贈呈式

ハイチ災害支援

ハイチ時間の2010年1月12日にハイチ共和国で起こったマグニチュード7.0の地震。地震の規模の大きさやハイチの社会基盤の弱さも相まり、死者が20万人程に及ぶなど単一の地震災害としては、スマトラ島沖地震に匹敵する大規模なものとなりました。当社は、3月12日に日本赤十字を通し、「久光ほっとハート倶楽部」拠出金と全国従業員からの募金176万円を寄付しました。



日本赤十字社への寄付贈呈

九州国際重粒子線がん治療センタープロジェクトへの資金支援

当社は、佐賀県が中心となって進めている九州国際重粒子線がん治療センタープロジェクトに対し、総額8億円の支援を行っています。患者さまのQOL向上に寄与するだけでなく、地域の活性化にもつながり、当社の経営理念にも合致することから、支援を決めました。

本プロジェクトは、世界最先端をいく放射線治療である重粒子線（炭素線）がん治療施設「九州国際重粒子線がん治療センター」を交通至便な佐賀県鳥栖市に開設し、がん撲滅に寄与することを目的としており、現在、治療行為と装置の管理を行う「佐賀国際重粒子線がん治療財団」と、建物を所有し財団へ貸与する「九州重粒子線施設管理株式会社」のふたつの団体が、車の両輪となってプロジェクトの推進・運営を行っています。

地域密着メディアケーブルテレビ

子会社の株式会社CRCCメディアは、久留米、鳥栖地域でケーブルテレビ等の情報サービスを提供しています。

地域に密着した情報を加入者に提供し、地域の活性化を図っています。また、地上デジタル放送開始に伴う、難視聴地域の解消といった情報インフラの役割も担い地域密着のケーブルテレビならではのサービスを今後も継続していきます。